

コロナウイルスに立ち向かい核兵器のない公正な世界を

6月2日（火）国民平和大行進宣伝カーは
午後5時に那智勝浦町庁舎を出発しました。



堀順一郎 那智勝浦町長よりペナントを受け取る岸本芳明さん



宣伝カー・横断幕と記念撮影



宣伝カーの送り出しで一言挨拶を頂戴した堀 那智勝浦町長です。

6月2日（月）晴れ。平和大行進宣伝カーは、太地町から那智勝浦町に入ります。勝浦町湯川、那智川沿いに那智大社の麓 和歌山県土砂災害研修センターまで走ります。2011年の台風12号土砂災害当時、小学校も土砂に埋もれていました。那智川はきれい改修されています。平和大行進宣伝カーが那智勝浦町内をくまなく走ります。4時30分、町庁舎の駐車場に入りました。宣伝カー運行は、新宮東牟婁原水協 増田弘さんです。紀南新聞の深瀬記者が待っておられ平和大行進宣伝カーについての取材をして頂きました。那智勝浦町総務課と議会事務局を、増田さんと県原水協事務局で表敬訪問をしました。総務課秘書係の担当職員より町長からのペナントと協賛金を頂戴しました。宣伝カーの出発時には、町長が「送り出し」に参加いただけるとのこと。嬉しい言葉です。又、今年も「被爆者募金箱」を預かって頂きました。議会事務局でも議長からの協賛金を頂戴しました。担当職員の方へは議長への役職署名をお願いをし、被爆者国際署名を預けました。午後5時前庁舎前で、堀順一郎 町長よりペナントを受け取ります。「子どもたちに核兵器の未来を残そう」と一言送り出しのコメントも頂戴します。記念撮影。拍手に見送られて、平和大行進宣伝カーは町内へ走り出しました。明日は、北山村、新宮市を宣伝カーが走ります。

県原水協事務局